急性骨髄性白血病　（進行・再発）　高齢者・ハイリスク患者

ＣＡＧ療法

コース目

患者ＩＤ：　@PATIENTID　　患者氏名　：　@PATIENTNAME

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(㎡)
HEIGHT01_Do	$WHEIGHT01_Doc	#VALUE!

投与ｽｹｼﾞｭｰﾙ：　１コース　２８日間（短縮あり）　　目標：１～２コース

《 使 用 薬 剤 》

アクラルビシン（ACR）：（アクラルビシン）20mg／V

シタラビン（Ara-C）：（シタラビン）　20mg/1mL/A

Ｇ－ＣＳＦ製剤（ノイトロジンまたはグラン）を適宜使用

注意：**アクラルビシンとシタラビンは配合不可のため、単独で滴下すること。**

ダブルのルートが入っている場合は同時投与OK。

投与量：

薬　剤	投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
アクラルビシン（ACR）	14 mg/㎡	#VALUE!		1～４
シタラビン（Ara-C）	20 mg/㎡	#VALUE!		1～14

<< タイムスケジュール：開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

Day1～4；　1月1日　（土）　～　1月4日　（火）

		PICC①	PICC②			
	0時00分	①		生理食塩液 50mL ＋ グラニセトロン １A 15分で点滴静注		
	0時15分	②		生理食塩液 100mL	＋ アクラルビシン（ACR）	0mg
				30分で点滴静注		
	0時45分	③		生理食塩液 50mL フラッシュ		
更新日確認！	1時00分		④	生理食塩液 1000mL	＋ シタラビン（Ara-C）	0mg
				48時間（注意！Day１と３に交換）で点滴静注		0.0mL

Day5～14；　1月5日　（水）　～　1月14日　（金）

更新日確認！	1時00分	①	生理食塩液 1000mL	＋ シタラビン（Ara-C）	0mg
			48時間（注意！Day5,7,9,11,13に交換）で点滴静注		0.0mL

Day15；　1月15日　（土）

	1時00分	①	生理食塩液 50mL フラッシュ

REFERENCE

Yamada K, et al. :Leukemia 1995, 9:10-14

:Concurrent use of G-CSF with low-dose Ara-C and aclarubicin for previously a pilot study.

2011年2月度プロトコール審査委員会承認：2011年2月14日 迅速審査承認(2010年12月16日)　更新:2016年2月8日